

決算説明資料 2023年2月期 第3四半期

株式会社薬王堂ホールディングス

(東証プライム 7679)

2023年1月16日

アジェンダ



P.2~P.13

2. アクションプランの進捗状況

P.14~P.16

3. FY2023 通期計画

P.17~P.20

4. 注力分野の説明

P.21~P.28

~ビッグデータ事業及びインキュベーションの取り組みについて~

アジェンダ



P.2~P.13

2. アクションプランの進捗状況

P.14~P.16

3. FY2023 通期計画

P.17~P.20

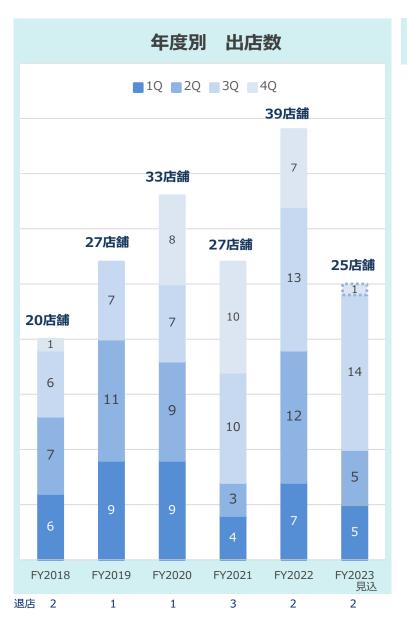
4. 注力分野の説明

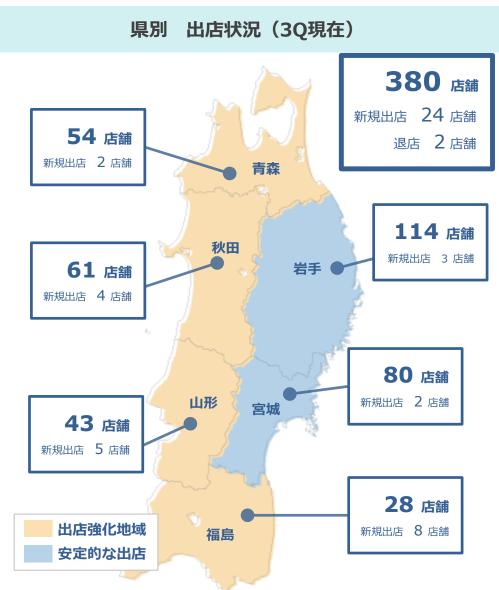
P.21~P.28

~ビッグデータ事業及びインキュベーションの取り組みについて~

出店







業績ハイライト



既存店売上高は計画を上回る

前期比 104.1% (計画101.9%)

粗利率は前期、計画ともに上回る

当期 23.1% (前期 22.9% 計画22.8%)

販売管理費比率は前期より上昇したが、計画は下回る

当期 19.1% (前期 18.9% 計画19.4%)

営業利益高、経常利益高、純利益高は計画を上回る

営業利益高前期比113.1% (計画93.2%)、経常利益高前期比112.3% (計画93.2%) 純利益高前期比106.1% (計画90.7%)

連結損益計算書

(収益認識に関する会計基準適用後での比較)



	FY2022 3Q実績 _(適用前)	FY2023 3Q実績 _(適用後)	増減率 (%)	増減	FY2023 通期計画 (^{適用後)}	計画 進捗率 (%)
売上高	90,077	96,802	-	6,724	125,700	77.0
売上総利益 売上総利益率(%)	20,582 22.9	21,172 21.9	-	589	27,179 21.6	77.9
販売管理費 販管費率(%)	17,022 18.9	17,137 17.7	-	115	23,083 18.4	74.2
営業利益 営業利益率(%)	3,560 4.0	4,034 4.2	-	474	4,095 3.3	98.5
経常利益 経常利益率(%)	3,828 4.3	4,306 4.4	-	477	4,426 3.5	97.3
親会社株主に帰属する 四半期純利益 純利益率(%)	2,796 3.1	2,974 3.1	-	177	3,080 2.5	96.6

⁽注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年 3 月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首より適用しており、2023年 2 月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準を適用した後の数値となっております。このため対前年同四半期増減率は記載しておりません。

連結損益計算書

(収益認識に関する会計基準適用前での比較)



	FY2022 3Q実績 _(適用前)	FY2023 3Q実績 _(適用前)	増減率 (%)	増減	FY2023 通期計画 (^{適用前)}	計画 進捗率 (%)
売上高	90,077	99,488	10.4	9,410	129,000	77.1
売上総利益 売上総利益率(%)	20,582 22.9	22,986 23.1	11.7	2,403	29,670 23.0	77.5
販売管理費 販管費率(%)	17,022 18.9	18,958 19.1	11.4	1,936	25,450 19.7	74.5
営業利益 営業利益率(%)	3,560 4.0	4,027 4.0	13.1	467	4,219 3.3	95.5
経常利益経常利益率(%)	3,828 4.3	4,298 4.3	12.3	470	4,550 3.5	94.5
親会社株主に帰属する 四半期純利益 純利益率(%)	2,796 3.1	2,966 3.0	6.1	170	3,204 2.5	92.6

連結貸借対照表

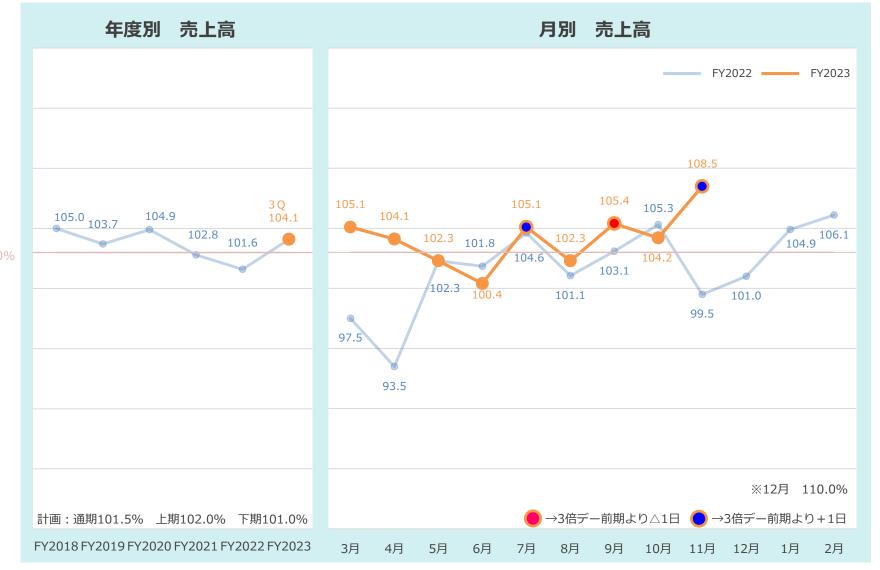


	FY2022 4Q	FY2023 3Q	増減	主な増減要因
流動資産	26,626	31,263	4,636	現預金+1,767 商品 +2,300
固定資産	35,670	37,608	1,938	有形固定資産+1,986 ※新店による増加 (当期3Q累計24店出店)
資産合計	62,297	68,871	6,574	
流動負債	20,490	24,052	3,562	買掛金+2,689
固定負債	14,272	15,139	867	
純資産合計	27,534	29,680	2,145	利益剰余金+2,461
負債・純資産合計	62,297	68,871	6,574	

既存店 売上高



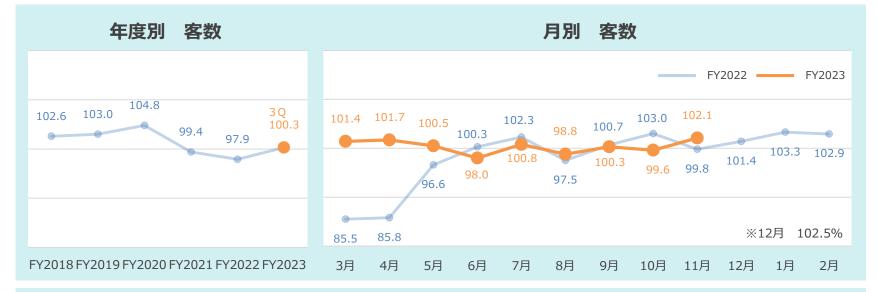
物価高による消費マインド低迷が続く中、既存店売上高が好調に推移し計画を上回る



既存店 客数・客単価



客数は100%前後に落ち着いていたが直近で回復物価高による商品値上げで客単価が上昇





既存店 点単価・1人当たり買上点数



物価高による商品値上げで点単価が上昇1人当たり買上点数は100%前後に落ち着く



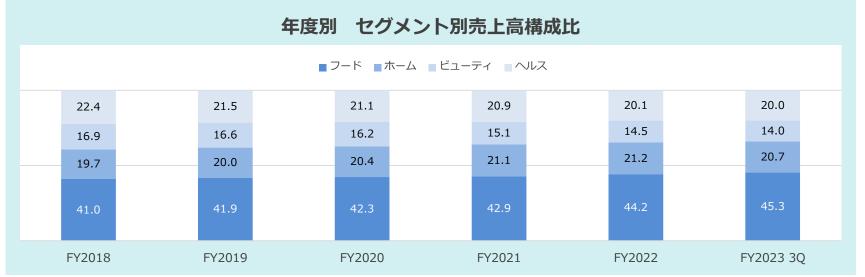


粗利率とセグメント別売上高構成比



粗利率は安定して推移し前期、計画ともに上回る





セグメント別状況



ヘルスは抗原検査キットや総合感冒薬の売上が拡大 フードは戦略的な販売強化により売上が拡大

	FY2022 3Q			FY2023 3Q			
項目	売上高	構成比 (%)	粗利率 (%)	売上高	增減率 (%)	構成比 (%)	粗利率 (%)
ヘルス	18,113	20.1	33.1	19,866	9.7	20.0	33.7
ビューティ	13,039	14.5	30.3	13,874	6.4	14.0	30.6
ホーム	19,047	21.2	20.8	20,605	8.2	20.7	21.4
フード	39,718	44.2	16.4	44,978	13.2	45.3	16.8
合計	89,919	100.0	22.7	99,325	10.5	100.0	23.0

販売管理費比率

FY2018

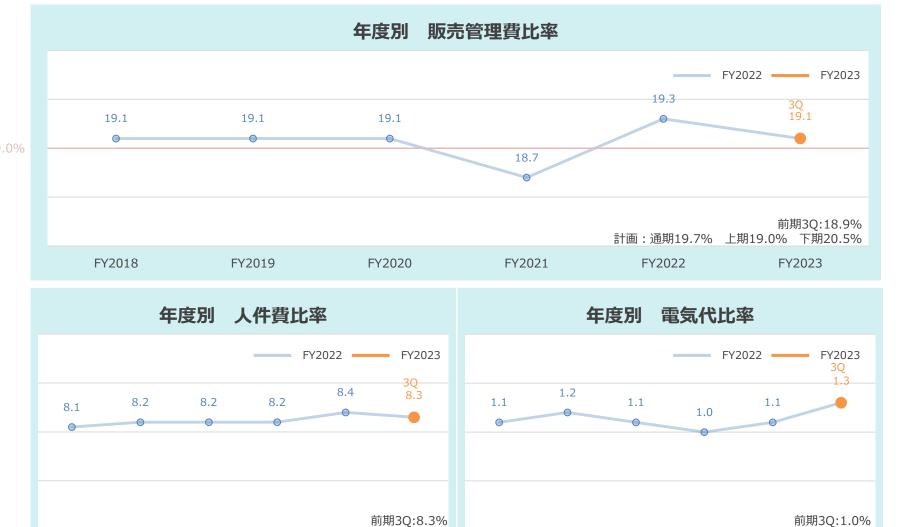
FY2019

FY2020



販売管理費比率は前期より上昇したが、計画は下回る 人時削減、LED・調光機能利用で電力使用量を抑制

(単位:%)



FY2021

FY2022

FY2023

FY2018

FY2019

FY2020

FY2021

FY2022

FY2023

アジェンダ



- 1. FY2023 3Q業績
- 2. アクションプランの進捗状況
- 3. FY2023 通期計画
- 4. 注力分野の説明

~ビッグデータ事業及びインキュベーションの取り組みについて~

P.2~P.13

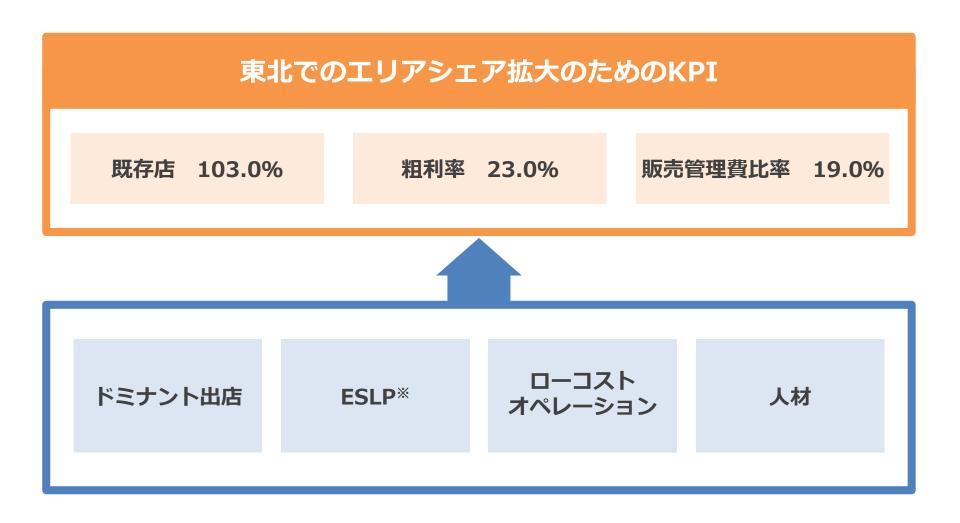
P.14~P.16

P.17~P.20

P.21~P.28

中長期的なKPIと薬王堂の特徴





KPI達成のためのアクションプランと進捗



KPI	中長期目標	FY2023 目標	3Q 実績	課題	対策	進捗
既存店売上高 前年比	103.0%	101.5%	104.1%	コロナの影響でスーパー マーケットでの買い物が 優勢となり一時的な客数減	・ESLP [※] 強化 ・日用品や食品の強化 ・販促と売り場の連動	・ESLP※構成比 前期28.0% → 当期28.6% ・日用品と食品の強化 前年比 日用品108.0% 食品 114.2%
粗利率	23.0%	23.0%	23.1%	競合激化の中でも 23.0%前後を維持	・定番棚割の精度向上 ・半期単位でメーカーと 戦略的合意 ・販促と売り場の連動	前期 22.9% → 当期 23.1%
販売管理費 比率	19.0%	19.7%	19.1%	・コロナ後の社会を見据え 戦略的ベースアップに よる人材の囲い込み・物流コストアップ	・DX化による店舗オペレーションの効率化・食品と非食品物流網の再整備	・コミュニケーション ツールの活用範囲拡大・青森、八戸エリアに おいて食品と非食品 の配送統合
内部統制の 強化	-	-	÷	取締役会において投資家 との対話の重要性を確認	・IR資料の充実・中期計画策定中・監査役との定期的な面談・各種勉強会を社外取締役と開催	・監査役との面談を実施 (当期4回) ・社外取締役との勉強会 を実施 (当期5回)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用前での比較

アジェンダ



- 1. FY2023 3Q業績
- 2. アクションプランの進捗状況
- 3. FY2023 通期計画
- 4. 注力分野の説明

~ビッグデータ事業及びインキュベーションの取り組みについて~

P.2~P.13

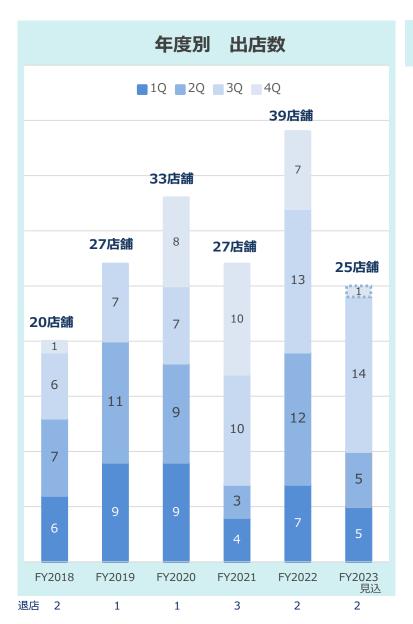
P.14~P.16

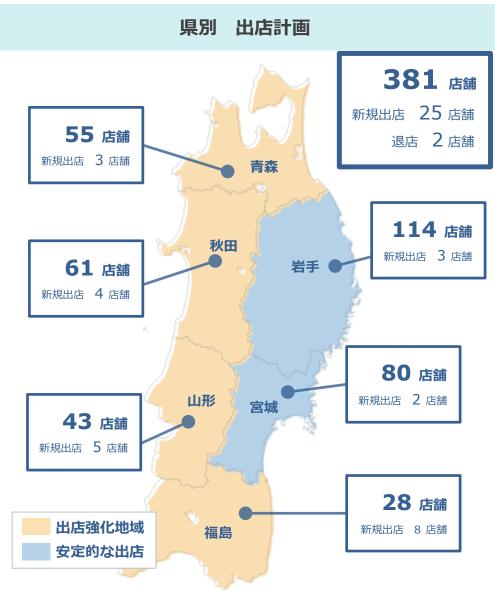
P.17~P.20

P.21~P.28

出店計画







FY2023 通期計画

(収益認識に関する会計基準適用後での比較)



▼ 当初計画から変更なし

	FY2022 通期実績 (^{適用前})	FY2023 通期計画 (適用後)	増減率 (%)
売上高	120,310	125,700	-
売上総利益 売上総利益率(%)	27,238 22.6	27,179 21.6	-
販売管理費 販売管理費比率(%)	23,195 19.3	23,083 18.4	-
営業利益 営業利益率(%)	4,043 3.4	4,095 3.3	-
経常利益 経常利益率(%)	4,394 3.7	4,426 3.5	-
親会社株主に帰属する 当期純利益 純利益率(%)	2,964 2.5	3,080 2.5	-

⁽注) 2023年2月期の期首より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、当該基準に基づいた予想となっており、 このため当該基準適用前の実績値に対する増減率は記載しておりません。

FY2023 通期計画

(収益認識に関する会計基準適用前での比較)



▼ 当初計画から変更なし

	FY2022 通期実績 (^{適用前})	FY2023 通期計画 _(適用前)	増減率 (%)
売上高	120,310	129,000	7.2
売上総利益 売上総利益率(%)	27,238 22.6	29,670 23.0	8.9
販売管理費 販売管理費比率(%)	23,195 19.3	25,450 19.7	9.7
営業利益 営業利益率(%)	4,043 3.4	4,219 3.3	4.4
経常利益 経常利益率(%)	4,394 3.7	4,550 3.5	3.6
親会社株主に帰属する 当期純利益 純利益率(%)	2,964 2.5	3,204 2.5	8.1

アジェンダ



- 1. FY2023 3Q業績
- 2. アクションプランの進捗状況
- 3. FY2023 通期計画
- 4. 注力分野の説明

~ビッグデータ事業及びインキュベーションの取り組みについて~

P.2~P.13

P.14~P.16

P.17~P.20

P.21~P.28

New Vision



薬王堂HD

東北から世界の健康をデザインする

薬王堂

地域の皆様の美と健康と豊かな暮らしに貢献する

送客

異業種とのコラボレーションを通じた ビッグデータ結合により 社会課題の解決を行う

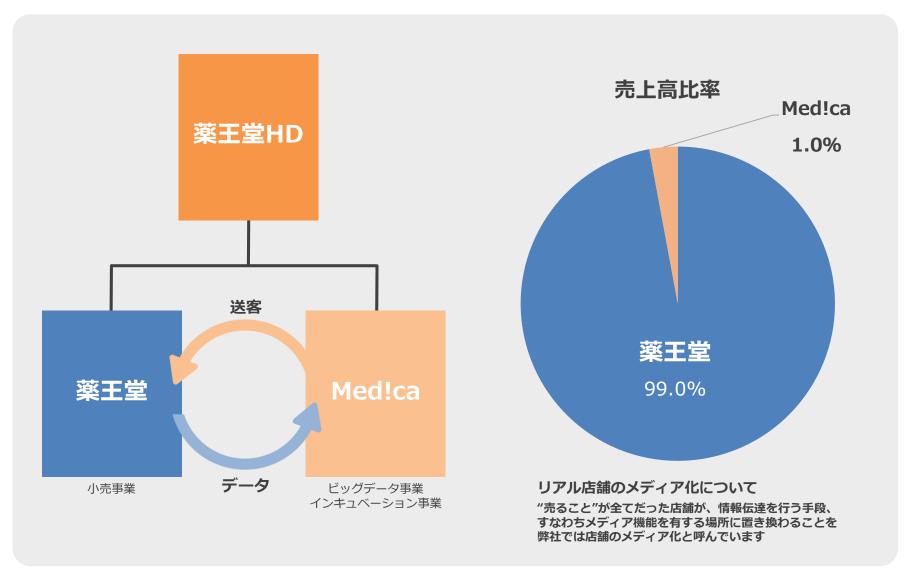
Med!ca

データ

薬王堂HDについて



~リアル店舗のメディア化を目指す~



1) 薬王堂公式アプリユーザーの拡大







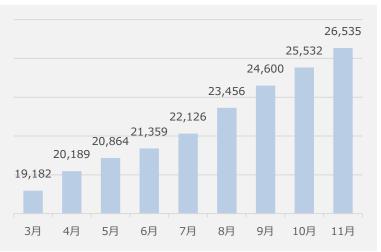


2) P!ck andユーザーの拡大



P.CK and







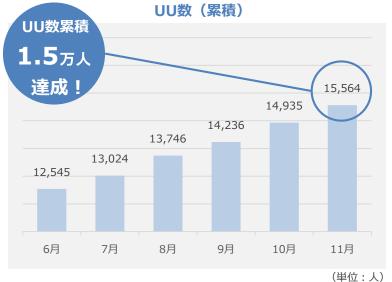
- ・2022年2月1日宮城県エリア1店舗、 2022年8月30日岩手県盛岡エリア8店舗 でラストワンマイル配送開始
- ・2022年10月4日宮城県エリア4店舗、 2022年11月29日岩手県盛岡エリア19店舗 にラストワンマイル配送店舗拡大



3) 肌診断ユーザーの拡大とレコメンドエンジンの精度向上







肌診断数(単月)



2021年8月26日 薬王堂アプリに肌診断機能を追加













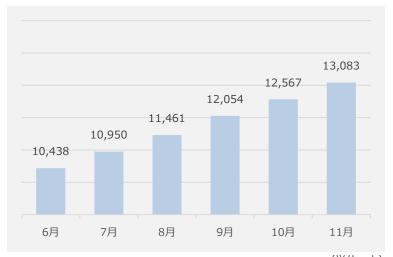


4)健康チェック実施者数とKOMPASUアプリユーザーの拡大



CELLSPECT

DL数(累積)





2021年8月26日 健康チェックアプリKOMPASUリリース



5) SDGs関連商品の共同開発と販売





環境に配慮したモノづくりから誕生した

東北生まれのスキンケア

未利用の豊かな資源から、素肌と環境にやさしい製品を。

アンオフ 2022年12月25日 累計販売数 環境を想う地元の輪と共に。 10,000個 突破 5品新発売 10,000 ・クレンジングオイル フェイスウォッシュ 1品新発売 1品新発売 2品新発売 スチャーローション ・オールインワンジェル ・ハンドクリーム ・ボディソープ モイスチャーミルク ・ボディミルク 8,000 10月2日 9月22日 6,000 and OHU 3月29日 ECサイトオープン 4.000 2022年 1月20日 2021年 12月1日 2.000 0

※and OHU (アンオフ) とは

株式会社ファーメンステーションと共同開発した、東北の自然素材や副産物などの未利用資源をアップサイクルした素肌と環境にやさしいスキンケア商品です。



薬王堂ホールディングス New Vision 東北から世界の健康をデザインする

【問い合わせ先】

株式会社薬王堂ホールディングス

経営戦略部

TEL 019-621-5027 FAX 019-621-5028

本資料には、当社の業績見通し等の将来に関する記述が含まれています。これらの記述は、当社が現在入手している 情報を基とした判断と仮定を前提としたものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、 実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。